

ひねのしょう おおぎ さと
日根荘大木の里

コスモス園

Cosmos Garden

2023

10.7^{SAT} → 10.22^{SUN}

OPEN 9:00-16:00

(雨天時、休園の場合あり)

入場
無料

コスモス園は、「日根荘大木の農村景観」として
国の重要文化的景観に選定された大木地区にあります。
また、令和元年に「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」として
日本遺産に認定されました。
伝統的な農村景観の広がるこの地で、コスモスを愛でてみませんか。



＊咲いているコスモスを販売します
1本20円(お一人様5本まで)



主催:大木まちづくり協議会
後援:歴史街道推進協議会



歴史街道
REKISHI KADO

ひねのしょうおおぎさと

日根荘大木の里コスモス園

2023年10月7日(土) ▶ 10月22日(日)

大木地区の自然豊かな環境を皆さんに楽しんでいただけるように、大木まちづくり協議会では、平成27年度に休耕田を活用したコスモス園を開園してから、今年で9年目を迎えます。コスモスが満開に咲き誇るよう管理していますので、「日根荘大木の里 コスモス園」にぜひ足をお運び下さい。

大木地区は平成25年に大阪府で初めて、国の重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」として選定されました。これを契機に、豊かな自然と歴史が息づく環境を次の世代に受け継ぎ、これからの地域のあり方について考えていくために、「大木まちづくり協議会」を発足しました。協議会では、地域を美しくする活動として、コスモス園以外にも沿道にプランターを設置し、色とりどりの花を植える活動のほか、国史跡長福寺跡で周囲の景観に調和するよう稲作を実施するなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

日根荘大木の里コスモス園は、耕耘や草刈りなど5月から準備を進め、7月下旬に種まきを行いました。今年もコスモス畑の中を歩いて観賞できるように、通路を設けています。

重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」

泉佐野市大木地区は、和歌山県との境をなす和泉山脈の豊かな自然に恵まれ、山間部の盆地ならではの地形を活かした伝統的な農村風景が広がっています。また、「国史跡日根荘遺跡」に指定された日根荘由来の寺社やお堂などにより、朗々と歴史が伝えられています。現在の大木地区は、日根荘の時代には入山田村と呼ばれ、上大木、中大木、下大木は、それぞれ船淵、菖蒲、大木に当たるとされています。日根荘の領主であった九条政基が1501(文亀元)年から4年間長福寺に滞在し、当時の日根荘に暮らす人たちの様子を詳しく記した『政基公旅引付』の舞台ともなりました。

このような豊かな自然と中世荘園に由来する土地利用のあり方が評価され、平成25年10月17日、「重要文化的景観」に選定されました。この景観は、中世まで歴史の変遷をたどることができる貴重なもので、地域の大切な財産として次の世代へ受け継いでいきたいものです。

文化的景観とは

文化的景観は、平成16年の文化財保護法改正で新たに文化財に位置付けられ、「地域の人々の生活や生業、風土により形成された景観地で、国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの」とされています。文化的景観のなかでも特に重要なものに関しては、国が「重要文化的景観」として選定します。

※令和5年8月末現在、全国で72件が重要文化的景観に選定されています。



日本遺産

令和元年に、「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」、令和2年には、「[葛城修験]—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」のストーリーが日本遺産に認定されました。「日根荘大木の農村景観」は、これらの日本遺産の構成文化財であり、大木地区は日本遺産の地域となっています。

日根荘大木の里 コスモス園 MAP



アクセス

南海・泉佐野駅もしくはJR・日根野駅から南海バス723系統「犬鳴山」行き乗車、「境界橋」下車、歩いてすぐ。看板やのぼりが目印です。

◎コスモス園に臨時駐車場を設けていますが、できる限り公共交通機関でお越し下さい。

コスモス園の開花状況、雨天時の休園情報、開園判断等について

下記QRコードを読み取り「日根荘大木の里コスモス園」ホームページで確認、もしくは下記の問い合わせ先におたずねください。

主催:大木まちづくり協議会

後援:歴史街道推進協議会

お問い合わせ:泉佐野市教育委員会文化財保護課
〒598-0056 大阪府泉佐野市元町4-5 旧朝日湯内
TEL 072-447-6766

<https://www.city.izumisano.lg.jp>

